

令和元年度第4回帯広市環境審議会 議事録（概要）

日 時：令和2年1月17日（金）9：30～10：30

場 所：帯広市役所10階 第5B会議室

○出席者（10名）

- ・ 委 員：板倉委員、梅津委員、加納委員、塩田委員、末安委員、田沼委員、永田委員、丹羽委員、山中委員、山根委員 ※欠席者4名
- ・ 事 務 局：川端市民環境部長、小野市民環境部参事、小林環境都市推進課長、西島環境都市推進課長補佐、関井係長、田中主任補、荒谷主任補、大野係員
- ・ 傍聴者等：報道関係者1名

- 配布資料：座席表、委員名簿、次第、環境審議会委員報酬の振り込みについて（該当委員のみ配布）
第三期帯広市環境基本計画（最終案策定検討資料）新旧対照表（資料1-2）
以下、事前配布資料
第三期帯広市環境基本計画（最終案策定検討資料）（資料1）
環境モデル都市の取り組みについて（資料2）
環境モデル都市行動計画の個別事業に関する進捗状況報告書（資料3）

1 開 会

2 議 事

- （1）審議事項、第三期帯広市環境基本計画について
事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

【委 員】前回の審議会において、第三期帯広市環境基本計画にはSDGsについて記載しないという説明がありましたが、持続可能な社会を目指すという意味では共通する部分が多くあることから、計画策定の背景の一部としてSDGsについて記載した方が良いのではないのでしょうか。

【事務局】計画策定の背景の中で、SDGsについての文言を加えることを検討します。

【委 員】ごみをゼロにすることは難しいので、基本目標を【ごみを出さないまち】から【ごみを減らすまち】に修正したことは良いと思います。ごみを減らすよう呼びかける行政の姿勢は、市民と一体感があり、次の世代のために何を大切にするかということが分かりやすくなったと思います。

【委 員】基本施策【1-1】「地球温暖化の防止と適応」における温室効果ガス排出量に関して、家庭部門については、世帯数の増加が温室効果ガス排出量の増加につながります。帯広

の特性として、暖房のエネルギー使用量を減らすことが課題の一つだと思います。エネルギー使用量を削減するためのPRとして、とちぎプラザで開催している環境交流会の中で、「暖房のエネルギーを減らす方法」というようなテーマを挙げて、各企業に出展してもらうことを検討してはどうでしょうか。

(2) 報告事項、平成30年度環境モデル都市フォローアップについて
事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

【委員】くりりんセンターの更新について、ごみや焼却設備の現状、なぜ更新しなければならないのか等、もう少し皆が分かるように情報発信すべきではないでしょうか。

【事務局】くりりんセンターは十勝圏複合事務組合の所管であるため、いただいたご意見を組合に伝えます。新しい中間処理施設の整備については、平成27年度から帯広市の厚生委員会等に対して報告を行ってきており、その都度報道機関からの報道があるなど、周知を行なってきていますが、今後はより良い周知方法を考えていきたいと思っています。

【委員】くりりんセンターでは見学者を受け入れており、教育的な面で施設が担ってきたものは大きいと思います。ごみを適正に処理することは大事なことで、最近ではプラスチックごみによる海洋汚染等の問題が取り上げられており、今何をやるべきか一人ひとりが考えることが大事だと思います。

【委員】太陽光発電の普及に遅れが見られるということですが、太陽光発電は二酸化炭素排出削減に大きく寄与するものであり、特に日照時間が長いという帯広の地域特性を考えると非常に重要であると思います。例えば、新たな住宅造成地等で太陽光発電設置を義務付ける等、太陽光発電普及につながる働きかけをした方が、着実に増えていくと思います。

【委員】出前環境教室や「環境にやさしい活動実践校」等、長く続けてきた環境モデル都市の取り組みにより成果が出てきている部分があると思うので、今後もホームページなどで情報発信すべきではないでしょうか。

【事務局】市ホームページにて、環境モデル都市の取り組みを公表しています。また、環境交流会や環境パネル展での「環境にやさしい活動実践校」の取り組み紹介や、出前環境教室の活用などについて、今後も発信していきます。